

市設建築物におけるファシリティマネジメントの推進 ー令和6年度における取組についてー

【概要版】

「大阪市公共施設マネジメント基本方針」に基づく再編整備・長寿命化・省エネルギー化の推進

【令和6年度における主な取組】

■再編整備の推進

・全庁横断的な視点で効率的な施設整備や、既存施設の有効活用を進める

●施設整備計画書によるチェックシステムを実施し、施設整備計画を評価【397件】

【再編整備の事例／ 港区土地区画整理記念・交流会館（令和6年4月開館）】

港区内の市民利用施設を複合化・多機能化し、豊かなコミュニティ形成を目的として設置された多目的交流スペースにおいて様々なイベントを開催するなど、憩いと交流の空間を創出している

■長寿命化の推進

・予防保全型の維持管理を推進し、施設をできるだけ長く活用する

・耐震化等の取組を着実に実施し、施設利用者の安全安心を確保する

●点検結果や工事履歴等を集約化した施設カルテを一般施設において運用【642施設】

●全ての市設建築物について個別施設計画を運用【全92計画】

●施設所管所属が適時適切な修繕・更新が行えるよう予防保全に係る評価支援を実施【118件】

●耐震化の取組として特定天井脱落対策を実施【3施設で新たに工事着手】

■省エネルギー化の推進

・温室効果ガス排出量の削減や、施設の運営コスト縮減を図るため省エネルギー化を進める

●一般施設におけるエネルギー消費量を削減【平成25年度比で36.7%削減】

●設備機器の運用改善など施設管理者に対する技術的支援を実施【16施設】

●環境配慮技術を積極的に導入した施設整備を実施

【学校施設においてZEB Oriented相当に対応した設計を実施（11校）】

●民間ノウハウを活用して省エネルギー改修を行うESCO事業を実施

【大阪市立小中学校（392施設）で合計約22万台の屋内照明をLED化】

【今後の主な取組】

再編整備の推進

●空き施設の有効活用に向けた情報収集及び提供

●予算編成時における施設整備計画書によるチェックシステムの実施

長寿命化の推進

●施設カルテのクラウド上での運用

●個別施設計画の整備及び運用

●特定天井脱落対策の実施

省エネルギー化の推進

●施設管理者に対する技術的支援の実施

●施設整備における環境配慮技術の導入（ZEB化）

●ESCO事業の実施